

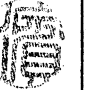
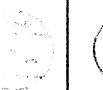





	議 長	局 長	参 事	次 長	主 幹	副主幹	書 記
決 裁							

令和 2年 1月 6日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 深澤 巧 印

研修成果報告書

養父市議会議員研修要項第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時 ・令和 元年 11月 19日 (火)
- 2 研修先 ・(株) 地方議会総合研究所 セミナー (京都)
- 3 研修目的 ・「知らなきゃ損する議会制度  
～議員報酬・定数・質問～」  
江藤 俊昭 山梨学院大学教授 の講義受講
- 4 成果 (具体的に)
  - ・今後の議員定数と議員報酬について議論の根拠を得た。
  - ① 定数・報酬の決定は住民を巻き込んで議論すること。それぞれの議会のポリシーを示すことが大事である。議会改革の実行の到達点の確認が重要である。
  - ② 「特別職等報酬審議会」は基本的に行革論理の中で設置されたもの。議会側からも「定数・報酬」についての第三者審議会を設置する方策がある。
  - ③ 報酬額については一定の原価方式 (会津若松市議会が試みる) などを参考にし  
てはどうか。
  - ④ 議会の権能の視点から常任委員会委員長手当などの引き上げも検討する必要がある。

以上

